

中長期的な観点からの宇宙輸送システムの在り方に係る総合的検討
(長期ビジョン)の検討状況

平成 25 年 9 月 20 日
宇宙政策委員会
宇宙輸送システム部会

1. 検討の進め方

- (1) 宇宙輸送システム長期ビジョンワーキンググループ会合を開催（内閣府宇宙戦略室による調査）
- (2) 同ワーキンググループは、宇宙輸送システムの長期ビジョンの素案を作成し、その素案を基に部会で審議

2. 部会の検討状況

- (1) 会合開催状況
 - 第 1 回ワーキンググループ会合（平成 25 年 8 月 23 日）
 - 第 8 回宇宙輸送システム部会（平成 25 年 9 月 2 日）
- (2) 検討及び議論のポイントは以下のとおり。
 - 2040 年～2050 年頃の将来の宇宙輸送システムの姿を検討
 - 将来の技術成立性及び市場性を踏まえた検討
 - サブオービタルの二地点間高速輸送、低軌道の商業宇宙ステーションや宇宙旅行、低軌道から静止軌道に渡る衛星修理・燃料補給ビジネスや宇宙太陽光発電、地球周回軌道外の宇宙資源探査など、将来需要を分類し想定
 - 使い切り型から再使用型への技術の進展を想定
 - 市場成立のために高頻度・大量化による輸送の低コスト化の必要性
 - 宇宙と航空の融合の進展を想定
 - エネルギーや航空などの他分野の市場への利用拡大の可能性を考慮
 - 技術進展の著しい他の民生分野との連携の可能性を考慮
 - 技術的・経済的両面から他国との共同開発の必要性
 - 高速輸送能力の保有は潜在的な安全保障・外交力であることを考慮 等
- (3) 第 2 回ワーキンググループ会合の開催は 10 月上旬予定。引き続きワーキンググループで素案の作成を進め、部会で議論の予定。

(参考) 宇宙輸送システム長期ビジョンワーキンググループ名簿

主査 白坂 成功 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授
渥美 正博 三菱重工業株式会社宇宙事業部宇宙システム技術部部長
稲谷 芳文 (独)宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所副所長
井元 隆行 (独)宇宙航空研究開発機構 宇宙輸送ミッション本部
 イプシロンロケットプロジェクトチームサブマネージャ
坂田 公夫 航空総合技術政策フォーラム代表幹事
 (独)宇宙航空研究開発機構元理事
牧野 隆 株式会社 IHI 航空宇宙事業本部宇宙開発事業推進部長

以上